官

報

目

次

令

改正する件(厚生労働一五七)

ᄪ

告示(原子力規制委四



内閣府 第20年 (1888年)

発 行 (原稿作成

〇医薬品、医療機器等の品質、有効性 及び安全性の確保等に関する法律施

〇株式会社日本政策金融公庫法附則第 務大臣の定める利率を定める等の件 の一部を改正する件 三十五条の規定に基づき、 同条の主

(財務・農林水産一一)

〇農業信用保証保険法第五十九条第一 の定める利息を定める件の一部を改 項の規定に基づき、 正する件(同一二) 同項の主務大臣

〇医薬品、 〇中小漁業融資保証法第六十九条第一 件の 労働大臣の指定する医薬品の一部を 四十九条第一項の規定に基づき厚生 項の主務大臣が定める利息を定める 及び安全性の確保等に関する法律第 一部を改正する件(同一三) 医療機器等の品質、 有効性

行規則の一部を改正する省令 (厚生労働六一) 法規的告示

O原子力災害対策特別措置法に基づき 府県を指定する件の一部を改正する 行令第二条の二の規定に基づき都道 示及び原子力災害対策特別措置法施 炉の運転等のための施設を定める告 十分な期間にわたり冷却された原子 の規定に基づく照射済燃料集合体が 及びチ並びに第十四条の表へ及びチ 等に関する規則第七条第一号の表へ 原子力防災管理者が通報すべき事象

〇医薬品等副作用被害救済制度の対象 とならない医薬品等の一部を改正す 正する件 (同一五九) (同一五八)

流系群、

かたくちいわし対馬暖流系

うるめいわし対馬暖流系群、

か

かたくち

〇漁業近代化資金融通法施行規程の 〇農業近代化資金融通法第二条第三項 部を改正する件(同七三二) 水産大臣が定める利率を定める件の 第四号の規定に基づき、 部を改正する件(農林水産七三一) 同号の農林

〇農業近代化資金融通法第三条第四項 〇農業経営基盤強化促進法附則第十一 臣が定める利率を定める件の一部を の規定に基づき、同項の農林水産大 める利率を定める件の一部を改正す 項の規定に基づき農林水産大臣が定 る件 (同七三三)

改正する件(同七三四)

〇厚生労働大臣が指定する生物由来製 品及び特定生物由来製品の一部を改

O特定水産資源 (さんま、まあじ、ま

〔その他告示〕

いわし太平洋系群、まいわし対馬暖

 \bigcirc

 \triangleright

 \bigcirc

条第一項各号に掲げる数量を公表す 和七管理年度における漁業法第十五 海西部・東シナ海系群)に関する令 たくちいわし太平洋系群、 る件の一部を変更する件 いわし瀬戸内海系群及びまだい日本 (農林水産七三五)

〇浄化槽の型式を認定した件 〇道路に関する件 (中部地方整備局六六) (近畿地方整備局六八)

国会事項

Ŧi.

人事異動

内閣府 財務省

皇室事項

日本国に帰化を許可する件 (法務省告示配二五)

(官庁報告)

公 告

諸 事 項

官庁

押収物還付関係

裁判所

会社その他 相続、 特別清算、 公示催告、 再生、 失踪、 所有者不明関係 破産、免責 官

する件の一部を改正する告示を次のように定める。

〇農林水産省告示第七百三十四号

令和七年五月十九日

産大臣が定める利率を定める件)の一部を次のように改正する 農林水産省告示第千百八十三号(農業近代化資金融通法第三条第四項の規定に基づき、同項の農林水 農業近代化資金融通法(昭和三十六年法律第二百二号)第三条第四項の規定に基づき、平成十四年

農林水産大臣 拓

の傍線を付した部分のように改める。 次の表により、改正前欄に掲げる規定の傍線を付した部分をこれに対応する改正後欄に掲げる規定

水産大臣が定める利率は、年二厘とする。農業近代化資金融通法第三条第四項の農林	改正後
水産大臣が定める利率は、年一厘五毛とする。農業近代化資金融通法第三条第四項の農林	改正前

この告示は、公布の日から施行する。

2 項の農林水産大臣が定める利率については、 この告示の施行前に貸し付けられた農業近代化資金についての農業近代化資金融通法第三条第四 なお従前の例による。

○原子力規制委員会告示第四号

表へ及びチの規定に基づく照射済燃料集合体が十分な期間にわたり冷却された原子炉の運転等のため 令第二号)第七条第一号の表チ及び第十四条の表チの規定に基づき、原子力災害対策特別措置法に基 の施設を定める告示及び原子力災害対策特別措置法施行令第二条の二の規定に基づき都道府県を指定 づき原子力防災管理者が通報すべき事象等に関する規則第七条第一号の表へ及びチ並びに第十四条の 策特別措置法に基づき原子力防災管理者が通報すべき事象等に関する規則(平成二十四年文部科学省 原子力災害対策特別措置法施行令(平成十二年政令第百九十五号)第二条の二並びに原子力災害対

令和七年五月十九日 法施行令第二条の二の規定に基づき都道府県を指定する件の一部を改正する告示 間にわたり冷却された原子炉の運転等のための施設を定める告示及び原子力災害対策特別措置 原子力災害対策特別措置法に基づき原子力防災管理者が通報すべき事象等に関する規則第七条 一号の表へ及びチ並びに第十四条の表へ及びチの規定に基づく照射済燃料集合体が十分な期 原子力規制委員会委員長 山中

たり冷却された原子炉の運転等のための施設を定める告示の一部改正 号の表へ及びチ並びに第十四条の表へ及びチの規定に基づく照射済燃料集合体が十分な期間にわ 、原子力災害対策特別措置法に基づき原子力防災管理者が通報すべき事象等に関する規則第七条第

員会告示第十四号)の一部を次のように改正する。 条第一号の表へ及びチ並びに第十四条の表へ及びチの規定に基づく照射済燃料集合体が十分な期間 にわたり冷却された原子炉の運転等のための施設を定める告示(平成二十七年十二月原子力規制委 原子力災害対策特別措置法に基づき原子力防災管理者が通報すべき事象等に関する規則第七

改正後欄に掲げる規定の傍線を付し又は破線で囲んだ部分のように改め、改正前欄及び改正後欄に に掲げる対象規定で改正後欄にこれに対応するものを掲げていないものは、これを削り、改正後欄 分が異なるものは改正前欄に掲げる対象規定を改正後欄に掲げる対象規定として移動し、 は、その標記部分が同一のものは当該対象規定を改正後欄に掲げるもののように改め、その標記部 対応して掲げるその標記部分に二重傍線を付した規定(以下この条において「対象規定」という。) に掲げる対象規定で改正前欄にこれに対応するものを掲げていないものは、 次の表により、改正前欄に掲げる規定の傍線を付し又は破線で囲んだ部分をこれに順次対応する これを加える。 改正前欄

> 第三条 事業所に設置される原子炉の運転等のため のための施設は、次の各号に掲げる原子力 原子力規制委員会が定める原子炉の運転等 の施設とする。 十分な期間にわたり冷却されたものとして 及び第十四条の表チの照射済燃料集合体が 通報事象等規則第七条第一号の表チ

改

正

後

改

正

機構新型転換炉原型炉ふげん 国立研究開発法人日本原子力研究開発

機構高速増殖原型炉もんじゅ 国立研究開発法人日本原子力研究開発

(新設)

第三条 原子力規制委員会が定める原子炉の運転等 のための施設は、国立研究開発法人日本原 及び第十四条の表チの照射済燃料集合体が における原子炉の運転等のための施設とす 子力研究開発機構新型転換炉原型炉ふげん 十分な期間にわたり冷却されたものとして (新設) 通報事象等規則第七条第一号の表チ

第二条 原子力災害対策特別措置法施行令第二条の二の規定に基づき都道府県を指定する件(平成二 十九年七月原子力規制委員会告示第六号)の一部を次のように改正する。 (原子力災害対策特別措置法施行令第二条の二の規定に基づき都道府県を指定する件の一部改正)

に掲げる対象規定で改正後欄にこれに対応するものを掲げていないものは、これを削り、 分が異なるものは改正前欄に掲げる対象規定を改正後欄に掲げる対象規定として移動し、 は、その標記部分が同一のものは当該対象規定を改正後欄に掲げるもののように改め、その標記部 対応して掲げるその標記部分に二重傍線を付した規定(以下この条において「対象規定」という。) 改正後欄に掲げる規定の傍線を付し又は破線で囲んだ部分のように改め、改正前欄及び改正後欄に に掲げる対象規定で改正前欄にこれに対応するものを掲げていないものは、これを加える。 次の表により、改正前欄に掲げる規定の傍線を付し又は破線で囲んだ部分をこれに順次対応する 改正前欄 改正後欄

			す	ت _	基	\equiv	
力研究開発機構高速増殖原国立研究開発法人日本原子	原型炉ふげん 国立研究開発機構新型転換炉		する。	ごとに、同表の下欄に掲げる都道府県を指定	基づき、次の表の上欄に掲げる原子力事業所	年政令第百九十五号) 第二条	原子力災害対策特別措置法施行令(平成十
岐阜県	岐 阜 県	都道府県		道府県を指定	原子力事業所	第二条の二の規定に	行令(平成十
			す				
	原型炉ふげん国立研究開発機構新型転換炉	原子力事業所	する。	ごとに、同表の下欄に掲げる都道府県を指定	基づき、次の表の上欄に掲げる原子力事業所	二年政令第百九十五号)第二条	原子力災害対策特別措置法施行令
	岐阜県	都道府県		『道府県を指定	原子力事業所	第二条の二の規定に	行令(平成十

則

型炉もんじゅ

この告示は、 公布の日から施行する。